

2019年2月5日

日本ユニシス 長野県、長野県立大学とソーシャル・イノベーションによる 社会課題の解決に向けた連携協定を締結

日本ユニシスは、長野県、公立大学法人長野県立大学（以下、長野県立大学）と、「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現に向け、ソーシャル・イノベーションの促進に関する連携協定を通じ、3者の特徴を生かした取り組みを協働で推進することに合意しました。

日本ユニシスは、当社の持つICT、AI、IoT分野などのサービスやアセット、ノウハウを活用し、人と人のつながりを活性化することによる地域の持続的な成長に向けて、さまざまな社会課題の解決に取り組んでいます。これら取り組みが長野県の地域社会発展に寄与できると考え、このたびの連携協定の合意に至りました。

産学官の3者による、ソーシャル・イノベーションに関する連携協定を締結するのは全国初となります。

【連携協定の概要】

締結日	2019年2月5日（火）
目的	長野県、長野県立大学および日本ユニシスが3者連携のもと、ソーシャル・イノベーションにより社会課題の解決を図る取り組みを促進し、地域の振興と発展、活力創造並びに人材の育成に寄与することを目的とする。
連携協力事項	(1) 3者が有する資源や知見、専門性の活用に関すること (2) 3者が協働して実施する事業に関すること (3) その他、目的を達成するために必要な事項に関すること

【長野県の取り組み】

長野県は、2030年の長野県の将来像を展望し、これを実現するため2018年度から5年間の取り組みを「しあわせ信州創造プラン2.0」として策定しています。「しあわせ信州創造プラン2.0」は、「確かな暮らしが営まれる美しい信州」を基本目標とし、政策推進のエンジンに「学びと自治の力」を据え、「産業の生産性が高い県づくり」、「人をひきつける快適な県づくり」などの6つの基本方針を掲げています。長野県は、これらの基本方針に則り、数々の取り組みを進めています。

【長野県立大学の取り組み】

長野県立大学は、長野県の知の礎となり、未来を切り開くリーダーを輩出し、世界の持続的発展を可能にする研究成果を発信することで、人類のより良い未来を創造し、発展させる大学を目指しています。さらに、長野県内各地域の社会課題解決の専任機関としてソーシャル・イノベーション創出センターを開設し、産学官連携や長野県内各地での地域住民を巻き込んだワークショップ開催、学内外の社会課題に取り組む者の支援を実施しています。

【日本ユニシスの取り組み】

日本ユニシスグループは、顧客・パートナーと共に社会課題を解決する企業として、業種・業態の垣根を超え、様々な企業を繋ぐビジネスエコシステムを創る中核企業になることを目指しています。そして、価値提供する注力領域の一つに「スマートタウン」を選定しています。この注力領域でのビジネスを拡大させるため、日本ユニシスは、2018年4月1日に「スマートタウン戦略本部」を新設しました。また、地域の産業振興や発展などに寄与することを目的として、熊本県合志市と包括連携協定を2018年4月26日に締結、同年12月12日には、熊本大学ならびにルネサンス社の2団体を含めた4社による、連携事業検討に合意しています。

長野県内においても、地域企業や生活者と当社のサービスやアセット、ノウハウを繋ぎ合わせることで、社会課題を解決するサービスを創出・提供し、生活者の心を豊かにする取り組みを推進していきます。

以 上

■関連リンク

- ・しあわせ信州創造プラン 2.0

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/keikakuan.html>

- ・2018年4月26日付 ニュースリリース

日本ユニシス 熊本県合志市と地域社会発展のための包括連携協定を締結

https://www.unisys.co.jp/news/pdf/pr_180426_smarttown.pdf

- ・2018年12月12日付 ニュースリリース

合志市、熊本大学、ルネサンス、日本ユニシス 健康都市こうしの実現に向けた連携事業検討に合意

https://www.unisys.co.jp/news/nr_181212_koshiyonrenkei.pdf

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<報道関係お問い合わせ窓口>

https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/